

サリチルアミド、アセトアミノフェン、無水カフェイン配合

PL (塩野義), 顆粒 1g 中: サリチルアミド 270mg, アセトアミノフェン 150mg, 無水カフェイン 60mg, メチレンジサリチル酸プロメタジン 13.5mg, 幼児用 PL 顆粒, 1g 中: サリチルアミド 45mg, アセトアミノフェン 25mg, 無水カフェイン 10mg, メチレンジサリチル酸プロメタジン 2.25mg

【適応 (効能・効果)】 感冒若しくは上気道炎に伴う下記症状の改善及び緩和: 鼻汁, 鼻閉, 咽・喉頭痛, 頭痛, 関節痛, 筋肉痛, 発熱

【用法・用量】 [成人] 1 回 1g, 1 日 4 回, [幼児用] 2~4 歳 1 回 1g (1 包) 1 日 4 回, 5~8 歳 1 回 2g (2 包) 1 日 4 回, 9~11 歳 1 回 3g (3 包) 1 日 4 回

【臨床成績】 各症状の改善率: プラセボと有意差あり

【薬効薬理】 ①体温下降作用 ②鎮痛作用 ③解熱鎮痛作用 (サリチルアミド・アセトアミノフェン) ④鎮痛作用の増強 (メチレンジサリチル酸プロメタジン) ⑤中枢神経興奮作用 (カフェイン)

【薬物動態】 24 時間以内に単回 90~100% 尿中排泄

【薬物代謝】 サリチルアミド: ほとんど完全に不活性代謝物に代謝, 24 時間以内に 90~100% 尿中排泄 カフェイン: CYP1A2 による脱メチル化及び酸化, 尿中排泄 アセトアミノフェン, プロメタジン→各項参照

【禁忌】 ①本剤成分, サリチル酸製

剤 (アスピリン等), フェノチアジン系化合物又はその類似化合物に過敏症 ②消化性潰瘍 ③アスピリン喘息 ④昏睡状態の患者又はバルビツール酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者 ⑤緑内障 ⑥前立腺肥大等, 下部尿路閉塞性疾患 ⑦2 歳未満の乳幼児

【慎重投与】 ①肝障害, 腎障害 ②出血傾向 ③気管支喘息

【相互作用・併用注意】 [詳細は各配合薬の項参照] ①ワルファリン ②糖尿病用剤 ③中枢神経抑制剤 ④アルコール ⑤降圧剤 ⑥抗コリン作用を有する薬剤 (フェノチアジン系化合物, 三環系抗うつ剤等)

【重大な副作用】 ショック, アナフィラキシー様症状 (0.1%未満), 剥脱性皮膚炎, Stevens-Johnson 症候群, Lyell 症候群 (0.1%未満), 再生不良性貧血 (0.1%未満), 無顆粒球症, 溶血性貧血, 血小板減少 (頻度不明), 喘息発作の誘発 (頻度不明), 間質性肺炎 (0.1%未満), 好酸球性肺炎 (頻度不明), 肝機能障害, 黄疸 (頻度不明), 乳児突然死症候群 (SIDS), 乳児睡眠時無呼吸発作 (頻度不明), 間質性腎炎, 急性腎不全 (頻度不明), 横紋筋融解症 (頻度不明), 緑内障 (頻度不明)

【副作用】 (成人用) [5%以上または頻度不明] 食欲不振, 胸やけ, 胃痛, 悪心・嘔吐, 口渇, 消化管出血, 眠気, めまい, 倦怠感, 頭痛, 耳鳴, 難聴, 視覚障害, 不安感, 興奮, 神経過敏, 不眠, 痙攣, せん妄, チアノーゼ, 過呼吸, 代謝性アシドーシス

【妊婦・授乳婦】 妊婦: サリチル酸 (アスピリン) を参照, 授乳婦: 長

期連用を避ける

【小児・高齢者】 小児: 1) 2 歳未満: 禁忌 (幼児用 PL も禁忌) [致死的な呼吸抑制] 2) 2 歳以上の幼児, 小児: 有益性>危険性のみ投与 {安全性未確立}, 高齢者: 減量など注意 **【特記事項】** 各配合剤の項参照 ライ症候群 [サリチル酸の項参照] → 15 歳未満の水痘, インフルエンザの患者には原則投与不可: やむを得ず投与する場合は, 慎重に投与し, 十分観察

ペレックス (大鵬), 顆粒 1g 中: サリチルアミド 270mg, アセトアミノフェン 150mg, 無水カフェイン 30mg, マレイン酸クロルフェニラミン 3mg, ペレックス 1/6 顆粒 1g 中: サリチルアミド 45mg, アセトアミノフェン 25mg, 無水カフェイン 5mg, マレイン酸クロルフェニラミン 0.5mg

【適応 (効能・効果)】 感冒もしくは上気道炎に伴う下記症状の改善及び緩和, 鼻汁, 鼻閉, 咽・喉頭痛, 咳, 痰, 頭痛, 関節痛, 筋肉痛, 発熱

【用法・用量】 [ペレックス顆粒] 1 回 1g, 1 日 3~4 回, [1/6 顆粒] 1 回 2~4 歳は 1g, 5~8 歳は 2g, 9~12 歳は 3g を 1 日 3~4 回

【臨床成績】 ペレックス顆粒: 有効率 80.2%, ペレックス 1/6: 有効率 76.8%

【薬効薬理】 【薬物代謝】 各配合成分及び PL 顆粒参照

【禁忌】 → PL 顆粒の①②③⑤⑥参照

【慎重投与】 PL 顆粒参照

【相互作用・併用注意】 PL 顆粒①②③④ (③はペレックス顆粒のみ)

及び MAO 阻害剤 [マレイン酸クロルフェニラミンの抗コリン作用増強→相互に作用増強]

【重大な副作用】 → PL 顆粒①~⑥⑨参照

【副作用】 食欲不振 3.1%, 胃部不快感 2.8%, 眠気 1.3%等

【妊婦・授乳婦】 → PL 顆粒参照

【小児・高齢者】 高齢者: 減量など注意

【特記事項】 → PL 顆粒参照 本剤は小児に禁忌はない (15 歳未満の水痘, インフルエンザ患者には原則投与不可)